

北見市上下水道中期経営プラン (前期 平成 22 年度～平成 26 年度)

【平成 24 年度取り組み状況】

「北見市上下水道中期経営プラン（前期）」は、今後 10 年間の企業局全体の経営戦略として取り組む「北見市上下水道ビジョン（平成 22 年 3 月策定、平成 22～31 年度）」の実現に向けた前期 5 カ年の主要施策の実施計画を示しています。

この中期経営プランに基づき実施した平成 24 年度の取り組み状況等を実績報告として取りまとめ、次年度以降の事業の着実な推進に努めます。

目 次

1. 実施計画（体系図）	1
2. 計画の取り組み状況（平成 24 年度）	
【水道項目】	2
【下水道項目】	4
【共通項目】	5
3. 数値目標一覧	6
4. 財政収支見通し	7

1. 実施計画

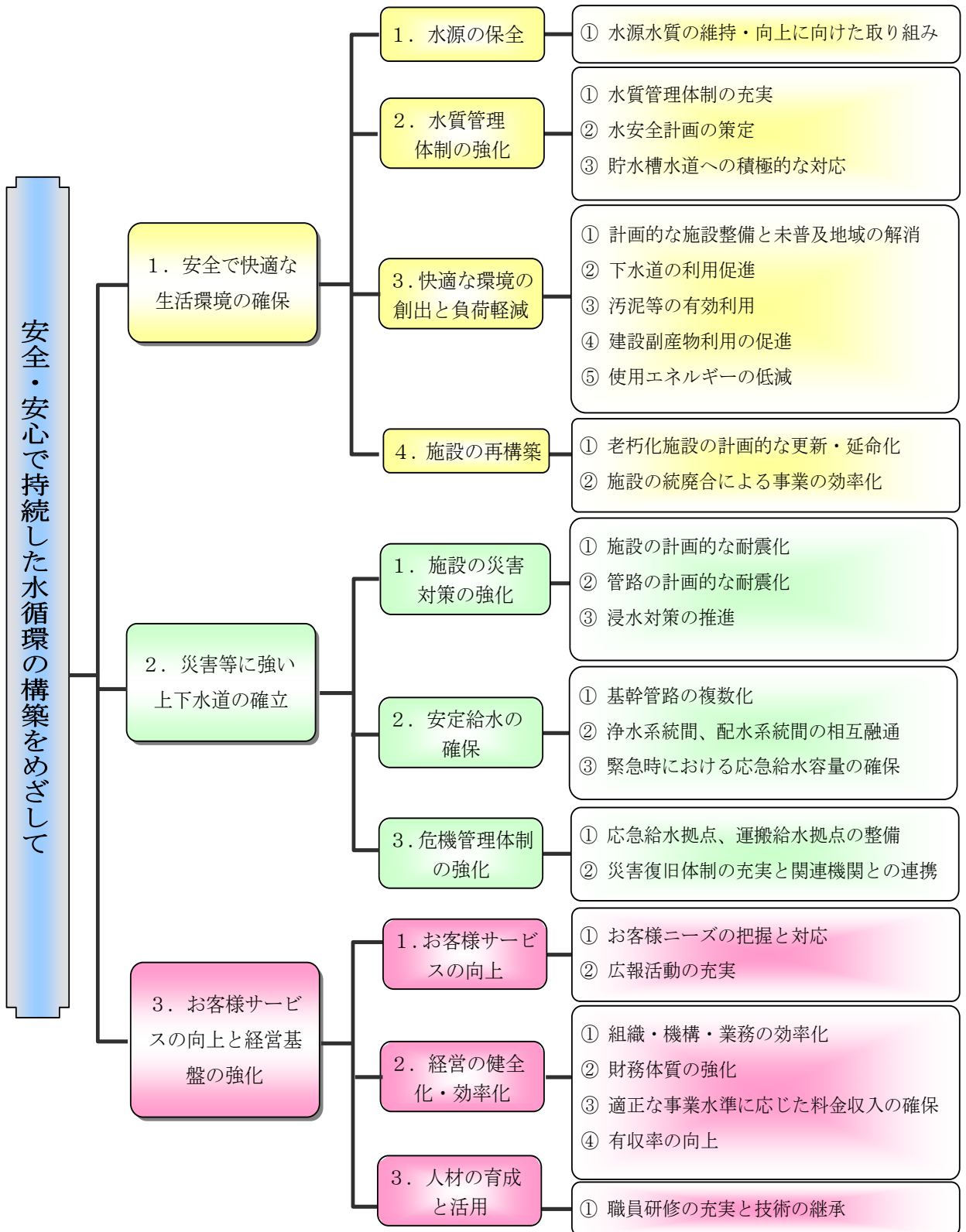
体系図

《基本理念》

《基本目標》

《基本方針》

《主要施策》



2. 計画の取り組み状況(平成24年度)

【水道項目】

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績(H24)	実績額 (百万円)												
安全で快適な生活環境の確保	水源水質の維持・向上に向けた取り組み	水源水質調査、パトロールの継続、関係機関協議会への参加を行い水源水質の維持向上に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> 「平成24年度 水質検査計画」に基づく原水水質検査の実施 降雨時、融雪時における河川パトロールの実施 「常呂川水系環境保全協議会」「常呂川水系清流ルネッサンスⅡ」に参加し、水質浄化対策などを関係機関と協議を行った。 家畜ふん尿対策として、市環境課、訓子府町、JA畜産グループと協議を行い、畜産農家への指導強化を申し入れた。 													
	水質管理体制の充実	毎年度「水道水質検査計画」を策定・実施し、定期的な検査機器の更新を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 「平成24年度 水質検査計画」の策定、実施 検査機器の更新 浄水連続pH測定器、連続色度測定器他 	6												
	「水安全計画」の策定	H23までに「水安全計画」を策定し、適宜見直しを行い安定的な水道水の供給に努めます。	「広郷・吉野・協和・緋牛内浄水場水安全計画」策定													
	貯水槽水道への積極的な対応	水質の確保された水道水が供給されるよう、水道事業者として積極的に貯水槽水道設置者とともに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 簡易専用水道設置者には検査についての文書送付、検査実施。 (58/69 検査率 84.0%) 小規模貯水槽水道設置者について検査の重要性について文書送付。 (1/345 検査率 0.3%) 													
	計画的な施設整備と未普及地域の解消	未普及地域の方々への意向調査を行い、費用対効果も検討し、普及率の向上に取り組めます。 ◎数値目標(水道普及率) 水道水を利用している人の割合 (給水人口/行政区内人口)	<ul style="list-style-type: none"> 未普及地域解消事業 光葉町地区配水管布設工事 φ50~100mm 71.1 m 温根湯温泉地区配水管布設替工事他φ20~50mm 1017.4 m 豊地地区配水管布設工事 φ50mm 188.4 m <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H26</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>93.8%</td> <td>93.9%</td> <td>96.5%</td> <td>温根湯温泉地区において区域拡張の変更認可を受け、道営事業との合併施行により事業を進めている</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標		H23	H24	H26		93.8%	93.9%	96.5%	温根湯温泉地区において区域拡張の変更認可を受け、道営事業との合併施行により事業を進めている	8
	実績		目標													
	H23	H24	H26													
	93.8%	93.9%	96.5%	温根湯温泉地区において区域拡張の変更認可を受け、道営事業との合併施行により事業を進めている												
	汚泥等の有効利用	広郷浄水場においては、H24までに天日乾燥ろ床を整備し、現在産業廃棄物として処分している汚泥の有効利用を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> 広郷浄水場基盤整備工事他 H25~27年度の3か年で、天日乾燥ろ床の工事を実施し、汚泥の有効利用を検討する。 		12											
	建設副産物利用の促進	産業廃棄物の削減やコスト縮減につながる取り組みとして、再生材料の使用や施工方法の検討を継続的に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> アスファルト再生合材(50%)の利用 水道管浅層埋設による工事期間の短縮、アスファルト廃材等の縮減についての検討を始めた。(H25~工大との共同研究を実施) 													
使用エネルギーの低減	「環境計画書」作成の検討や使用エネルギーの少ない機器への更新、配水ブロックの見直しを検討し、環境負荷低減に取り組めます。															
老朽化施設の計画的な更新・延命化	「アセットマネジメント」の策定を行います。 導送配水管更新事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 策定に向け資料の収集 送配水管更新事業 φ50~400mm 北見 12,912.7 m 端野 m 常呂 498.0 m 留辺蘂 103.4 m 計 13,514.1 m 		1,051												
	広郷浄水系統送配水施設更新事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 広郷浄水系統送配水施設更新事業 三輪ポンプ場受変電設備更新工事 " 大正系ポンプ更新工事 川向増圧ポンプ計装機器更新工事 		411												
	金華取水導水配水施設更新事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 金華取水導水配水施設更新事業 金華浄水場導水ポンプ更新工事 " No.2苛性ソーダ注入ポンプ更新工事 		6												
	吉野取水・導水施設更新事業を検討、実施します。	平成25年度以降実施予定事業														
施設の統廃合による事業の効率化	H28までに、1上水道事業への統合するため統合簡易水道事業などを実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 温根湯温泉地区統合簡易水道事業 平里地区 道営事業負担金 配水管布設工事φ20~50mm 1,017.4m (平成24年 月 日 供用開始) 大和地区 道営事業負担金 		162												

【水道項目】

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績(H24)	実績額 (百万円)										
災害等に強い上下水道の確立	施設の計画的な耐震化	H25までに重要な基幹施設(広郷浄水場、三輪ポンプ場、日の出沈砂池)については耐震化工事を実施します。 ◎数値目標(浄水場耐震化率) 耐震化された浄水施設能力の割合(耐震性のある施設能力/全施設能力)	・基幹施設耐震化事業 広郷浄水場耐震補強工事(H23~24) 三輪ポンプ場耐震補強工事	191										
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <td rowspan="3">広郷浄水場の補強工事が完了し、目標値に達した</td> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13.5%</td> <td>95.4%</td> <td>93.1%</td> </tr> </tbody> </table>		実績		目標	広郷浄水場の補強工事が完了し、目標値に達した	H23	H24	H26	13.5%	95.4%	93.1%
			実績		目標	広郷浄水場の補強工事が完了し、目標値に達した								
			H23	H24	H26									
			13.5%	95.4%	93.1%									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <td rowspan="3">三輪ポンプ場補強工事が完了し、数値が上昇した</td> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29.6%</td> <td>84.9%</td> <td>92.9%</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標	三輪ポンプ場補強工事が完了し、数値が上昇した	H23	H24	H26	29.6%	84.9%	92.9%			
	実績		目標	三輪ポンプ場補強工事が完了し、数値が上昇した										
	H23	H24	H26											
	29.6%	84.9%	92.9%											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <td rowspan="3">目標値に達している。道営事業で整備した平里地区の配水池が移管されたため率が上昇した</td> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26.9%</td> <td>27.1%</td> <td>25.9%</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標	目標値に達している。道営事業で整備した平里地区の配水池が移管されたため率が上昇した	H23	H24	H26	26.9%	27.1%	25.9%			
実績		目標	目標値に達している。道営事業で整備した平里地区の配水池が移管されたため率が上昇した											
H23	H24	H26												
26.9%	27.1%	25.9%												
③数値目標(ポンプ場耐震化率) 耐震化されたポンプ場能力の割合(耐震性のある施設能力/全施設能力)	・その他施設耐震化事業 東日本大震災の被災状況により、耐震診断方法の変更が想定されるため、耐震診断は実施していない。													
④数値目標(配水池耐震化率) 耐震化された配水池容量の割合(耐震性のある配水池容量/全配水池容量)														
⑤数値目標(水道管路耐震化率) 耐震化された水道管路の割合(耐震管延長/管路総延長)	・管路耐震化事業 ダクタイル鋳鉄管(GX形) 1,814.5 m ダクタイル鋳鉄管(NS形) 2,380.6 m ポリエチレン管(PE) 332.7 m ステンレス鋼管 0.0 m 計 4,527.8 m	送配水管更新費に計上												
⑥数値目標(水道管路耐震化率) 耐震化された水道管路の割合(耐震管延長/管路総延長)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <td rowspan="3">概ね計画どおり推移している 老朽管更新時に併せて口径φ150mm以上の管は耐震管を採用</td> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.2%</td> <td>3.3%</td> <td>3.4%</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標	概ね計画どおり推移している 老朽管更新時に併せて口径φ150mm以上の管は耐震管を採用	H23	H24	H26	2.2%	3.3%	3.4%			
実績		目標	概ね計画どおり推移している 老朽管更新時に併せて口径φ150mm以上の管は耐震管を採用											
H23	H24	H26												
2.2%	3.3%	3.4%												
⑦数値目標(水道管路耐震化率) 耐震化された水道管路の割合(耐震管延長/管路総延長)	・平成23年度事業完了 事業年度 H22~H23 総事業費 1,353,918 千円 φ150~800 L=2,771.7m													
⑧数値目標(水道管路耐震化率) 耐震化された水道管路の割合(耐震管延長/管路総延長)	・老朽管の布設替えに重点をおき事業を進めているため、現時点では未実施。													
⑨数値目標(水道管路耐震化率) 耐震化された水道管路の割合(耐震管延長/管路総延長)	・後期計画で実施予定事業													
⑩数値目標(水道管路耐震化率) 耐震化された水道管路の割合(耐震管延長/管路総延長)	・後期計画で実施予定事業													
⑪数値目標(水道管路耐震化率) 耐震化された水道管路の割合(耐震管延長/管路総延長)	・平成25年度以降実施予定事業													
⑫数値目標(水道管路耐震化率) 耐震化された水道管路の割合(耐震管延長/管路総延長)	・毒物遠隔監視装置設置事業 (緋牛内・協和・吉野・4号井・金華・温根湯・瑞穂浄水場に設置し、広郷浄水場で中央監視) ・マッピングシステムデータ更新等	41 12												
お客様サービスの向上と経営基盤の強化														
⑬数値目標(有収率) 料金徴収の対象となる水量の割合(有収水量/給水量)	・有収率の向上 老朽管工事・漏水調査費・修繕工事費 北見市水道事業の漏水防止基本計画に基づき実施	40												
⑭数値目標(有収率) 料金徴収の対象となる水量の割合(有収水量/給水量)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <td rowspan="3">前年度と比較すると率は若干向上したが、目標値達成に向け、今後も漏水防止基本計画に則った取り組みを進める。</td> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77.2%</td> <td>77.4%</td> <td>80.8%</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標	前年度と比較すると率は若干向上したが、目標値達成に向け、今後も漏水防止基本計画に則った取り組みを進める。	H23	H24	H26	77.2%	77.4%	80.8%			
実績		目標	前年度と比較すると率は若干向上したが、目標値達成に向け、今後も漏水防止基本計画に則った取り組みを進める。											
H23	H24	H26												
77.2%	77.4%	80.8%												

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績(H24)	実績額(百万円)									
安全で快適な生活環境の確保	計画的な施設整備と未普及地域の解消	未普及地域の方々への意向調査を行い、費用対効果も検討し、普及率の向上に取り組みます。 ◎数値目標(下水道普及率) 下水道・漁業集落排水が利用可能な人の割合 (処理区域内人口/認可区域内人口)	・汚水処理施設整備事業 汚水管整備 φ150~250mm L= 804.56 m 公共汚水柵の新設	141									
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <th rowspan="3">概ね計画どおりに推移している</th> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>99.6%</td> <td>99.7%</td> <td>99.5%</td> </tr> </tbody> </table>		実績		目標	概ね計画どおりに推移している	H23	H24	H26	99.6%	99.7%
	実績		目標	概ね計画どおりに推移している									
	H23	H24	H26										
	99.6%	99.7%	99.5%										
	下水道法により義務づけられている分流化整備事業を実施します。	◎数値目標(合流式下水道改善率) 合流式下水道改善率 (分流式下水道並み整備面積/合流式下水道整備面積)	・緊急合流改善事業 分流化のための管渠整備 φ200~1,000mm L=13,933.26m	1,600									
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <th rowspan="3">H25の合流改善対策事業完了に向け、計画どおりに推移している</th> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>88.5%</td> <td>95.5%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>		実績		目標	H25の合流改善対策事業完了に向け、計画どおりに推移している	H23	H24	H25	88.5%	95.5%
	実績		目標	H25の合流改善対策事業完了に向け、計画どおりに推移している									
	H23	H24	H25										
	88.5%	95.5%	100.0%										
下水道の利用促進	水洗化率の向上に向けて継続的に啓発活動を行います。	・未水洗家屋の個別訪問を継続的に行った。 対象件数 911件 訪問件数 767件											
汚泥等の有効利用	下水汚泥については、H26までに全量を有効利用するための検討や施設整備を行い、また消化ガスについても利用の検討をします。	・消化ガス発電排熱有効利用に関する共同研究を北見工業大学と実施。 [研究内容]マイクロガスタービンから発生する排熱について、未利用分の有効利用に関する調査、研究。 ・公共下水道浄化センター汚泥処理施設基本設計業務委託	16										
建設副産物利用の促進	産業廃棄物の削減やコスト縮減につながる取り組みとして、再生材料の使用や施工方法の検討を継続的に取り組みます。	・舗装復旧にあたり、アスファルト再生合材(50%)を利用 ・取り壊した既設の舗装合材は、再資源化プラントにおいて処理											
老朽化施設の計画的な更新・延命化	各自治体処理場と北見自治体管渠のデータベース化に取り組みます。 長寿命化計画の策定を行います。 長寿命化対策・改築更新事業を実施します。	・北見・留辺蘂・常呂は、H23までに完了。 ・端野町下水道管理センターは、長寿命計画にあわせてH26以降実施予定											
		・長寿命化計画策定事業 長寿命化計画策定業務委託(北見浄化センター・常呂終末処理場)	23										
		・改築更新事業 北見浄化センター機械設備工事 (A1反応タンク散気装置・水処理計装設備更新) 北見浄化センター電気設備工事(高圧受電設備更新)	404										
災害等に強い上下水道の確立	施設の計画的な耐震化	耐震診断の実施、基本計画の策定を行います。	・処理施設耐震化事業 常呂終末処理場耐震診断業務委託	6									
		耐震診断の結果と改築更新計画に合わせた耐震化に取り組みます。 ◎数値目標(処理場の耐震化率) 耐震化された処理場の構造物割合 (耐震性のある構造物数/構造物数)	・処理施設耐震化事業 北見市浄化センター管理棟耐震実施設計	24									
	管路の計画的な耐震化	耐震化計画の策定に取り組みます。 長寿命化対策や改築更新計画に併せた耐震化に取り組みます。 ◎数値目標 (重要な下水幹線等耐震化率) 耐震化された重要な下水幹線等の割合 (耐震管延長/重要な幹線等延長)	・下水道管渠長寿命化計画(高栄地区・青葉通地区)策定 ・管路耐震化事業 下水道管渠長寿命化計画策定業務委託 下水道管渠長寿命化計画基礎調査業務委託	34									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <th rowspan="3">策定した長寿命化計画・基礎調査を基に、H25以降事業を実施する予定</th> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8.0%</td> <td>8.0%</td> <td>9.0%</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標	策定した長寿命化計画・基礎調査を基に、H25以降事業を実施する予定	H23	H24	H26	8.0%	8.0%	9.0%	
		実績		目標	策定した長寿命化計画・基礎調査を基に、H25以降事業を実施する予定								
H23	H24	H26											
8.0%	8.0%	9.0%											
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <th rowspan="3">計画どおり推移している 道路整備等と併せて効率的に整備を実施している。</th> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>56.8%</td> <td>57.7%</td> <td>55.5%</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標	計画どおり推移している 道路整備等と併せて効率的に整備を実施している。	H23	H24	H26	56.8%	57.7%	55.5%			
実績		目標	計画どおり推移している 道路整備等と併せて効率的に整備を実施している。										
H23	H24	H26											
56.8%	57.7%	55.5%											
浸水対策の促進	大雨の影響を受けやすい地域から優先的に雨水管整備に取り組みます。 ◎数値目標(雨水面積整備率) 雨水整備の計画面積に対する浸水対策済み面積割合 (雨水整備面積/公共下水道事業認可区域面積)	・雨水管整備事業 雨水管整備 φ300~□2,300mm L=1,851.19m 公共雨水柵設置工事(北見)	257										

【共通項目】

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績(H24)	実績額 (百万円)						
経営 客 様	お客様ニーズの把握と対策	アンケート調査を継続的に実施し、データの蓄積と分析により、お客様サービスの向上に取り組みます。 ◎数値目標(アンケート情報収集割合) 給水人口に対するアンケート調査回答人数の割合 (アンケート回答人数/給水人口)	アンケート調査の実施にかかり、実施時期及びお客様のニーズ調査に対する内容につき検討を行った。							
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.0%</td> </tr> </tbody> </table> H24未実施 実施時期・内容を検討する。		実績		目標	H23	H24	H26
実績		目標								
H23	H24	H26								
—	—	1.0%								
営業 基 礎	広報活動の充実	各種広報活動を充実させることにより、事業経営についてお客様のご理解と信頼を得るよう取り組みます。 ◎数値目標(上下水道事業に係る情報の提供度) 広報誌などによる利用者への情報提供の割合 (広報誌発行部数/給水人口)	上下水道事業にかかる予算・決算、施設整備の状況、断水・事故情報、お客様が行う届出や収納窓口に関することなど、お客様が必要とする情報や「水道週間」、「下水道の日」についての周知を広報誌及び北見市のホームページにより実施しました。また、水環境保全の大切さを理解していただくため、施設見学の受入を実施した。	2						
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <th rowspan="2">広報誌における特集記事は年間2回掲載。その他イベント等に合わせて随時掲載した。</th> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.0%</td> <td>2.0%</td> <td>3.0%</td> </tr> </tbody> </table>		実績		目標	広報誌における特集記事は年間2回掲載。その他イベント等に合わせて随時掲載した。	H23	H24
実績		目標	広報誌における特集記事は年間2回掲載。その他イベント等に合わせて随時掲載した。							
H23	H24	H26								
2.0%	2.0%	3.0%								
盤 ス の 向 上	組織・機構・業務の効率化	継続的に組織・機構・業務を見直すことにより効率的な企業経営に取り組みます。	・北見市組織機構の見直しに基づいた変更を行った。 ・料金等収納窓口を料金センター課と一体化し、利便性の向上や業務の効率化を図った。							
	財務体質の強化	財政計画の策定、未利用資産の有効利用などを実施し、財務体質の強化に取り組みます。	「北見市上下水道ビジョン」に基づき予算編成を行い執行した。 事業の執行に当たっては、収入の確保に努めるとともに、費用の縮減を図った結果、水道事業で、33,956,766円、下水道事業で、99,213,673円のそれぞれ当年度純利益となった。							
の 向 上	適正な事業水準に応じた料金収入の確保	料金及び会計方式の統一により、負担の公平性を図り将来の事業経営の安定を目指します。	(財政状況の開示・料金水準の見直し) ・財政状況の開示 広報5月号(予算)、広報11月号(決算)にて開示。また、ホームページに経営情報として、各種資料を掲載した。 ・料金水準の見直し 平成22年10月より、水道料金及び下水道使用料を統一、改定した。 改定率 水道料金 12.5%(激変緩和措置有) 下水道使用料 11.87% (収納率向上に向けた取り組み) 各自治区では未収金の早期解消に向けて、給水停止・支払督促、差押(北見自治区)を執行し、収納対策の強化を図った。また、各自治区間での取組を統一し、年数回の勉強会を実施するとともに、収納対策の強化を図り、料金収入の確保に努めた。							
			職員研修の充実と技術の継承		安定的に事業を継続できるよう、研修制度の充実や、技術の継承に取り組みます。	北見市企業局職員研修基本計画に基づいた「平成24年度 北見市企業局研修計画」を策定し、本計画の各研修メニューに基づいた、全体・専門別及び外部研修を実施した。				

3. 数値目標一覧

基本目標1. 安全で快適な生活環境の確保

指標名	指標の持つ意味 (算出式)	現状 H20	実績数値				目標 H26	目標 H31
			H21	H22	H23	H24		
1-3-① 水道普及率	水道水を利用している人の割合 (給水人口/行政区内人口)	94.2%	93.5%	93.9%	93.8%	93.9%	96.5%	98.6%
1-3-① 下水道普及率	下水道・漁業集落排水が利用可能な人の割合 (処理区域内人口/認可区域内人口)	99.5%	99.5%	99.6%	99.6%	99.7%	99.5%	99.6%
1-3-① 合流式下水道改善率	合流式下水道改善率 (分流式下水道並み整備面積/ 合流式下水道整備面積)	71.7%	77.0%	81.7%	88.5%	95.5%	100% (H25)	100.0%

基本目標2. 災害等に強い上下水道の確立

指標名	指標の持つ意味 (算出式)	現状 H20	実績数値				目標 H26	目標 H31
			H21	H22	H23	H24		
2-1-① 浄水場耐震化率	耐震化された浄水施設能力の割合 (耐震性のある施設能力/ 全施設能力)	7.0%	13.5%	13.5%	13.5%	95.4%	93.1%	93.1%
2-1-① ポンプ場耐震化率	耐震化されたポンプ場能力の割合 (耐震性のある施設能力/ 全施設能力)	29.6%	29.6%	29.6%	29.6%	84.9%	92.9%	92.9%
2-1-① 配水池耐震化率	耐震化された配水池容量の割合 (耐震性のある配水池容量/ 全配水池容量)	9.8%	26.9%	26.9%	26.9%	27.1%	25.9%	25.9%
2-1-② 水道管路耐震化率	耐震化された水道管路の割合 (耐震管延長/管路総延長)	0.5%	1.3%	1.6%	2.2%	3.3%	3.4%	6.1%
2-1-① 処理場の耐震化率	耐震化された処理場の構造物割合 (耐震性のある構造物数/構造物数)	13.8%	13.8%	13.8%	13.8%	13.8%	24.1%	32.2%
2-1-② 重要な下水幹線等の耐震化率	耐震化された重要な下水幹線等の割合 (耐震管延長/重要な 幹線等延長)	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	9.0%	10.0%
2-1-③ 雨水面積整備率	雨水整備の計画面積に対する浸水 対策済みの面積割合 (雨水整備面積/公共下水道 事業認可区域面積)	54.9%	55.6%	55.8%	56.8%	57.7%	55.5%	55.9%

基本目標3. お客様サービスの向上と経営基盤の強化

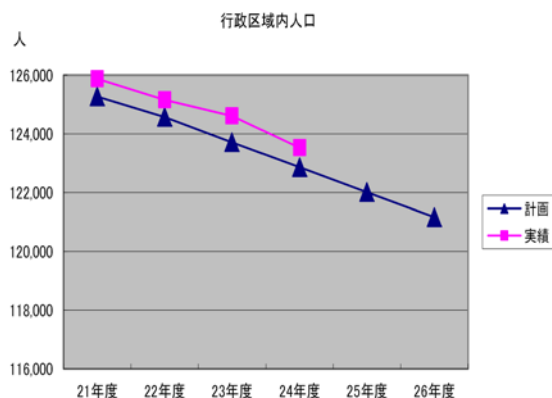
指標名	指標の持つ意味 (算出式)	現状 H20	実績数値				目標 H26	目標 H31
			H21	H22	H23	H24		
3-1-① アンケート情報収集割合	給水人口に対するアンケート調査回 答人数の割合 (アンケート回答人数/給水人口)	0.8%	0.8%	—	—	—	1.0%	1.0%
3-1-② 上下水道事業に係る情報の提供度	広報誌などによる利用者への情報提 供の割合 (広報誌発行部数/給水人口)	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	3.0%	4.0%
3-2-④ 有収率	料金徴収の対象となる水量の割合 (有収水量/給水量)	76.9%	76.5%	71.7%	77.2%	77.4%	80.8%	84.4%

4. 財政収支見通し

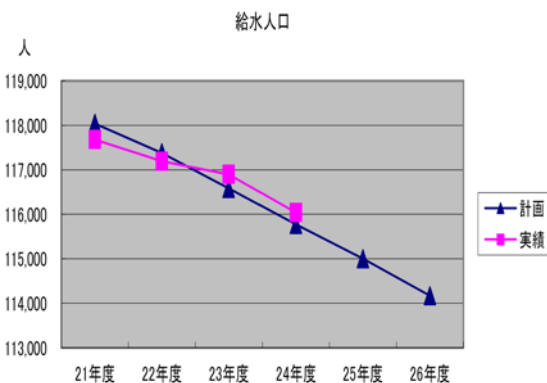
(1) 水需要量の状況

年 度		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
①行政区域内人口 (人)	計画	125,270	124,570	123,710	122,860	122,010	121,160
	実績	125,876	125,158	124,607	123,525		
②給水人口 (人)	計画	118,040	117,380	116,580	115,770	115,000	114,170
	実績	117,678	117,191	116,830	116,040		
③給水戸数 (戸)	計画	65,900	65,890	65,820	65,750	65,700	65,260
	実績	66,290	66,272	66,580	67,012		
④有収水量 (m ³ /日)	計画	33,325	33,132	32,914	32,694	32,479	32,256
	実績	33,102	31,884	33,056	32,955		

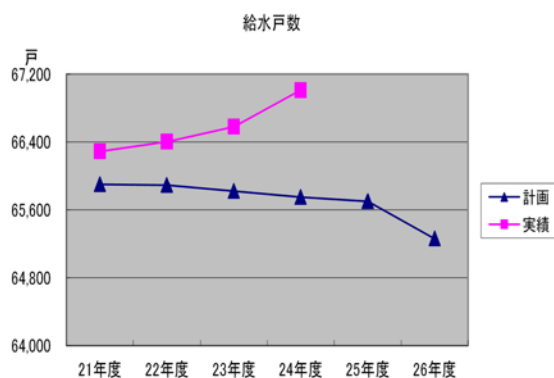
① 行政区域内人口



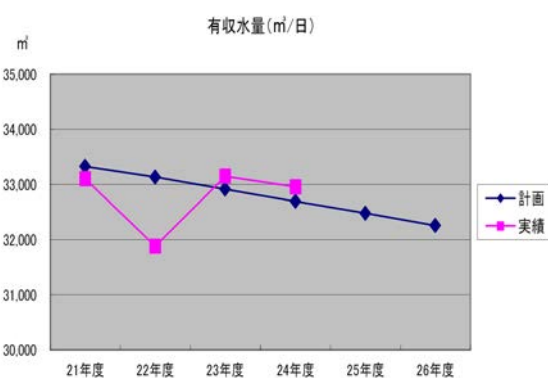
②給水人口



③給水戸数



④有収水量 (水道)



有収水量は、22年度において隔月検針・徴収の実施に伴い大幅に減となっておりますが、23・24年度の水量は、ほぼ計画どおりに推移し、需要量は横ばい・微減傾向であります。

※有収水量 : 料金徴収の対象となった水量

(2) 財政収支見通しと決算

◎水道事業

(単位：百万円)

区 分	24年度① (収支見通し)	24年度② (決算)	②-①
受入資金(A)	4,289	5,066	777
うち料金収入	2,401	2,305	- 96
支払資金(B)	4,090	4,649	559
うち建設改良費	1,336	1,983	647
収支差引(C)=(A)-(B)	199	417	218
資金残高(C)+前年度	1,440	2,151	711

◎下水道事業

(単位：百万円)

区 分	24年度① (収支見通し)	24年度② (決算)	②-①
受入資金(A)	7,262	7,852	590
うち料金収入	1,907	1,891	- 16
支払資金(B)	7,143	7,463	320
うち建設改良費	2,457	2,536	79
収支差引(C)=(A)-(B)	119	389	270
資金残高(C)+前年度	- 2,978	- 2,412	566

◎水道事業

建設改良費において、国補助金の追加交付等に伴い一部事業を前倒ししたため、受入資金(A)、支払資金(B)ともに計画を上回りました。
 料金収入が計画をやや下回りましたが、支払資金(B)のうち人件費・物件費等が一定程度縮減できました。
 この結果、資金残高(C)が計画に比べ711百万円上回り、必要な資金の確保ができました。

◎下水道事業

高金利企業債の借換えの実施(432百万円)により受入資金(A)、支払資金(B)ともに計画より上回りました。
 料金収入がほぼ計画どおりの収入を確保することができ、また、支払資金(B)のうち人件費・物件費等が一定程度縮減できました。
 この結果、資金残高(C)が計画に比べ566百万円資金不足が減少しました。

※このように、平成24年度は、両事業ともに計画をやや上回る結果となりましたが、今後は、人口減少等の影響から料金収入の減少が予想される中で、災害対策や老朽管の更新などの対応が課題となりますが、今後も、上下水道ビジョンの実現に向けて、経営状況等を勘案しながら効率的に事業を実施し、安全・安心で持続した水循環の構築を目指してまいります。

参考：＜財政収支の見通し、計画・実績＞

◎水道事業
計画

(単位：百万円)

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
受入資金 (A)	6,127	4,463	4,077	4,289	4,138	4,131
うち料金収入	2,237	2,323	2,314	2,401	2,392	2,474
支払資金 (B)	6,234	4,198	3,964	4,090	4,064	4,116
うち建設改良費	3,647	1,488	1,225	1,336	1,142	1,110
収支差引 (C) = (A) - (B)	-107	265	113	199	74	15
資金残高 (C) + (前年度)	863	1,128	1,241	1,440	1,514	1,529

実績

(単位：百万円)

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
受入資金 (A)	5,859	4,244	4,867	5,066		
うち料金収入	2,199	2,142	2,281	2,305		
支払資金 (B)	5,790	3,927	4,489	4,649		
うち建設改良費	3,405	1,552	2,185	1,983		
収支差引 (C) = (A) - (B)	69	317	378	417		
資金残高 (C) + (前年度)	1,039	1,356	1,734	2,151		

◎下水道事業

計画

(単位：百万円)

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
受入資金 (A)	10,702	7,531	7,914	7,262	7,587	6,589
うち料金収入	1,732	1,928	1,918	1,907	1,897	1,884
支払資金 (B)	10,797	7,349	7,735	7,143	7,508	6,582
うち建設改良費	2,386	2,671	3,017	2,457	2,770	1,737
収支差引 (C) = (A) - (B)	-95	182	179	119	79	7
資金残高 (C) + (前年度)	-3,458	-3,276	-3,097	-2,978	-2,899	-2,892

実績

(単位：百万円)

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
受入資金 (A)	9,449	7,507	7,656	7,852		
うち料金収入	1,706	1,710	1,903	1,891		
支払資金 (B)	9,448	7,322	7,281	7,463		
うち建設改良費	2,218	2,771	2,722	2,536		
収支差引 (C) = (A) - (B)	1	185	375	389		
資金残高 (C) + (前年度)	-3,361	-3,176	-2,801	-2,412		